

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：尿中がん細胞早期発見のスクリーニング法の開発

1. 研究の概要

がんの早期発見は、治療成績の向上に極めて重要です。尿を用いた検査は、身体への負担が少なく、外来で簡便に繰り返し実施できるという利点があります。しかし、従来の尿細胞診には感度や判定のばらつきなどの課題があります。

本研究では、がん細胞特有の酵素に反応して蛍光を発する新たな検査法を用い、尿中のがん細胞を選択的に検出できるかを検討します。

本技術が確立されれば、侵襲が少なく、迅速かつ高精度ながんスクリーニング法としての実用化が期待されます。また、再発モニタリングなどへの応用の可能性もあります。

- 本学の実施体制

【研究責任者】宮崎大学医学部機能制御学講座生命分子科学分野 徐 岩

2. 目的

本研究は、尿を用いてがん細胞を検出する新しい検査法を開発し、がんの早期発見につなげることを目的としています。

私たちは、がん細胞に特有の酵素に反応して光る新たな検査法を開発しました。本研究では、この技術を用いて、尿中に存在するがん細胞を選択的に可視化できるかを検証し、将来的に臨床で活用可能なスクリーニング検査として確立することを目指します。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2027年3月31日まで

4. 対象者

研究機関の長の許可後～2027年2月に本院泌尿器科に外来通院もしくは入院されているがん患者さんが対象となります。

5. 方法

本研究では、対象となる患者さんの診療録（カルテ）から、尿検査や尿細胞診の結果などの診療情報を利用させていただきます。

あわせて、ご提供いただいた尿検体に新規に開発した蛍光プローブを反応させ、尿中にごがん細胞が存在する場合に選択的に蛍光標識が可能かどうかを検討します。

- 本学における試料・情報の管理責任者

宮崎大学医学部機能制御学講座生命分子科学分野 徐 岩

- 本研究で利用する試料・情報の内容

<取得する情報>

患者基本情報、尿検査結果、尿細胞診検査結果、診療録情報など

<取得する試料>

診療後の尿の残余検体

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部機能制御学講座生命分子科学分野 徐 岩

電話：0985-85-0993

宮崎大学医学部附属病院泌尿器科 澤田 篤郎

電話：0985-85-2968